1 徳島県阿南市（あなん）

6次産業化　地産地消　移住・定住

特別賞

黒川（くろかわ）　真太郎（しんたろう）

～田舎の宝を活かした小さな6次産業～

彩魁企画　黒川さん

過疎地の空き家を有効利用したパン屋

経　緯

○東日本大震災により当時暮らしていた横浜でも様々な生活必需品が消え、それまで当たり前であった生活が出来ない状況になった。「農産物を作る生活」「作り出せる生活」の必要を感じ、作れる土地の徳島に移住。

○「とくしま有機農業サポートセンター」で農業を学び、町内で農地を借り、小さな6次産業「彩魁企画」を夫婦でスタート。

取組内容

○環境保全型農業で農産物を栽培。地元農家に付加価値のあるお米作りを依頼し、儲かるお米作りを実施。

○お米の消費拡大をテーマに、パン、煎餅、菓子、糀、餅など、お米の可能性を模索して、安心・美味しい食品加工に取り組み、全国の消費者にネット販売。

○週に1回「おやつ小屋」という店名のパン屋を営業。直売所的に野菜や町の特産品も販売。

○学童保育を立ち上げ、学童では英語教室や料理教室など、子育て環境にも取り組む。

活動の効果

○お米を作っても儲からないと嘆いていた生産者さんに、付加価値のあるお米作りを依頼して儲かるお米作りが実現できるようになり、耕作面積も増えた。

○お米を使った「こだわりの食パン」は、開店直後に完売、ブランド米を使ったポン煎餅の全国発送も好評で、新しい工夫と提案を実現させて売上げが伸びた。

応募者からのアピール・メッセージ

過疎化が進行している町ですが、子ども達に「この町で子育てをしたい」と思える活動、子育てから魅力ある町作りまでを積極的に取り組んでいくことが目標です。

阿南市新野町東山56-4　Tel：090-3450-8853

2 徳島県吉野川市（よしのがわ）

農林漁業　女性の活躍　農業者との協業

吉尾（よしお）　美咲（みさき）

～人生が激変！若手農家たちとの出会い～

GOTTSO美～ナスの圃場で

制作したポスター（一部）とレシピ集

経　緯

○阿波市観光協会に在職中、農業後継者グループ「GOTTSO阿波」に出会う。
○農業でまちおこしを目指し、情熱を燃やす姿に衝撃を受け、自分にしかできないサポートの形を模索していく。
○2019年に退職し独立。事務局としてグループをサポートしている。

取組内容

○「GOTTSO阿波」の事務局として、資料作成、営業・取材への同行、窓口の役割等、グループを縁の下で支えている。
○販促物は、メンバーの顔を全面に出す等「魅せ方」を工夫。農産物のブランド化を図った。
○グループ設立時から年々更新が減っていたSNSを復活。活動の記録や販売の告知を行い、人目に触れる機会を増やした。

活動の効果

○販促物はデザインを統一することで、ブランドイメージの揺れをなくした。年々アップデートしており、より多くの人から評価を得ている。
○長くグループ活動に関わり内容を深く知っているため、様々な資料をオーダーメイドですぐに制作できる。
○SNSを見て連絡をいただくことが増え、メディアからの取材や販促に繋がっている。

応募者からのアピール・メッセージ

人生をガラリと変えてくれた「GOTTSO阿波」や地域農業に恩返しができるよう、より一層知識や技術を高め、GOTTSOブランドを進化させ続けたい。

HP：https://gems-creation.localinfo.jp　mail：gems-creation@outlook.jp

③ 徳島県阿波市（あわ）

農林漁業　移住・定住

井本（いもと）　加奈子（かなこ）

～地域農業を継承するハチミツづくり～

夫婦で養蜂園を開業

あわcolorとしてイベント参加

経　緯

○就農を考えていたとき、阿波市が地域おこし協力隊として農業継承者を募集していることを知る。
○地域の養蜂家の下で養蜂の技術を学ぶため応募し、2018年４月大阪府から阿波市へ移住。
○３年間、技術を学び、2021年４月井本養蜂園を開業。

取組内容

○養蜂によるハチミツの採取、販売を行うとともにハチミツを使用した独自性のある加工品の開発を行う。
○NPO法人あわ・みらい創生社の町おこしの活動に参加し、農業が盛んな阿波市をアピールする。
○自宅の畑をハーブガーデンにして花蜜を集めるための蜜源植物の確保とともに景観を良くし、訪れた方に楽しんでもらう。

活動の効果

○阿波市地域おこし協力隊として3年間養蜂の技術を学ぶことで阿波市の農業を継承し、生産したハチミツを販売することで地域の食に貢献している。
○地域ブランド「あわcolor」の立ち上げから携わり、またイベント等に積極的に参加し、安全安心な阿波市の農産品や加工品をアピール・販売している。
○新規就農者として安定した経営を目指し、新しく農業を始める方へ一つの働き方を提供している。

応募者からのアピール・メッセージ

季節や蜂場によって特徴の異なるハチミツをお客様に楽しんでいただくとともに、花の咲く阿波市の景色などをSNS等で紹介したい。

阿波市阿波町元町258　Tel：070-4481-0641

4 徳島県阿波市（あわ）

農林漁業 | 食育・教育 | 農業における新たな形の創造

寺井（てらい） 稔（みのる）

～農業が、何倍も楽しくなった理由（ワケ）。～

東京・南池袋公園でのマルシェ

小学校で食育授業「虫のクイズ」

経　緯

○兼業農家に生まれたものの、高校卒業後は食品スーパーへ就職。「生産から販売まで、自分でやってみたい」との思いから、28歳の時に就農。
○農業後継者のグループが地元にあると聞き、「何か面白いことができるかもしれない」と2015年から「GOTTSO阿波」に加入。

取組内容

○「野菜の力でまちおこし」を目標に、関西～関東まで野菜の出張販売や広報を幅広く行い、「まちのPR隊」として活動している。
○「GOTTSO美～®ナス」の生産を始め、ブランド野菜として確立させた。幼稚園や小学校での食育を実施。
○2020東京オリ・パラ選手村への「GOTTSO美～®ナス」の納品を目指し、グローバルGAP、とくしま安²GAP（優秀）を取得。

活動の効果

○「GOTTSO阿波」では、これまでの営業努力により独自の販売ルートが確立されている。野菜の販売先は確保されており、売上が増加した。
○食育活動により、嫌いな野菜を好きになる子どもが少しずつ増加し、野菜消費量の増加に繋がった。
○2020東京オリンピック・パラリンピックの選手村へ、GOTTSO美～®ナスを納品することができた。

応募者からのアピール・メッセージ

グループの強みは、仲間同士で協力し新たな活動を行えること。若手の農家を引き入れて、楽しみながら農業で儲けられるような「新たな農業」を目指していきたい。

阿波市阿波町下喜来南174-7　Tel:090-3787-2756

5 徳島県阿波市（あわ）

農福連携

特定非営利活動法人山の薬剤師たち（とくていひえいりかつどうほうじん　やま　やくざいし）

～高床式砂栽培システムによりみんなを笑顔に～

高床式砂栽培ハウスにて体験見学会

吉野川高校学生との共同作業

経　緯

○過疎地域での医療サービス等の支援体制構築により、住民が住み慣れた地域で少しでも長く暮らし続けられることを目的に活動を開始した。
○障がい者が自立した生活をおくれるよう農業を軸に就労支援し、末永く活躍できる農業を提案している。

取組内容

○農業教育の場で農福連携を浸透させるため、学生と障がい者との共同作業の機会を提供。徳島県教育委員会に対し農福学連携の働きかけを実施。
○軽負担でマニュアル管理しやすい高床式砂栽培ハウスを新設。障がい者だけで管理する自立型農園を目指し、障がい者の担い手を育成している。
○様々なメディアを活用し、農福連携の普及に取組む。

活動の効果

○障がい者をより身近に感じた学生等が、将来農業を営む際に障がい者とともに働くことが選択肢に加わることを期待している。
○農福連携の普及活動として、徳島新聞掲載、NHKとくしまへの出演、見学会の開催等により、多くの方と交流することができた。
○栽培した野菜を販売することで、地域の食に貢献している。

応募団体からのアピール・メッセージ

農福連携をはじめ、あらゆる切り口で地域と向き合い、住み慣れた地域で安心して生活し続けることができる地域づくりに貢献することを目指しています。

阿波市吉野町柿原字原194-1　Tel: 088-676-3380

⑥ 徳島県美馬市（みま）

輸出 | 環境保全・景観保全 | 教育機関との連携

仕出原（しではら） 自治会（じちかい）

～清流穴吹川と自然を楽しむ人気のスポット～

自治会長　尾下氏（「しでの家」の前で）

八朔シャーベットほか

経　緯

○八朔の産地「仕出原集落」は、少子高齢化、後継者不足、鳥獣害、耕作放棄地拡大等多くの課題を抱え、集落存続の不安があった。
○各種支援制度を活用し、積極的に地域の環境整備に取組んだ。美馬市から「リバーサイドしでの家」の運営を委託され、村おこしの起爆剤につながることとなった。

取組内容

○清流穴吹川を取り巻く景観維持のため、集落が共同で安全対策や環境整備の取組を実施。
○伝統果樹の八朔（とくしま特選ブランド認定）は、EUへ輸出。
○「しでの家」は夏場の川遊びやブルーベリー狩りの人気スポットとなっており、自治会が管理・運営を実施。
○八朔収穫のため、協働パートナーを受入。

活動の効果

○八朔は、EUへの輸出で知名度アップが図られている。また、ブルーベリー観光農園は好評を得て増園している。
○「しでの家」の運営を通じ、集落と外部の人々との交流が深まり、協調性が醸成された。

応募団体からのアピール・メッセージ

地域伝統の八朔を守り、品種変更をせず栽培を継続。このことが希少価値を高めている。「はっさくシャーベット」「ブルーベリーアイス」「栗アイス」は「しでの家」の名物に。農業体験を通じ、I・Uターン者の受入と、空き家利用について自治会で検討中である。

美馬市穴吹町口山字仕出原80 Tel：0883-52-0468

7 徳島県美馬市（みま）

農村文化体験　6次産業化　教育機関との連携

西渕農産加工研究会（にしぶちのうさんかこうけんきゅうかい）

～和と和む天空の里「渕名」～

農家レストラン「風和里」

共同作業による農作物の加工

経　緯

○世界農業遺産に認定された「にし阿波」地域では、傾斜地農耕を行っている。
○渕名集落では、農産物を栽培するとともに、干し芋や干し大根などの加工も行っている。加工や栽培の共同化による農業経営の効率化や担い手の育成を図るため、平成25年に「西渕農産加工研究会」を設立。

取組内容

○甘藷・茶・イチジク等の剪定・収穫・加工等の作業を共同で取り組んでいる。
○集落を訪問する方に地元野菜料理を提供するため、平成29年農家レストラン「風和里」（ふわり）を開設。地域の高齢者向けに、テイクアウトのお弁当も販売している。
○大学生や高校生の校外学習活動を積極的に受け入れている。
○集落でのお茶の栽培と「渕名茶」を使った商品開発にも取り組んでいる。

活動の効果

○農作業等を共同で取り組むことにより、作業の効率化が図られている。
○農家レストラン「風和里」は、地域内外の交流促進や地域のPRに繋がっている。
○加工品や農産物が、世界農業遺産「にし阿波の傾斜地農耕システム」ブランド認証商品の認定を受け、加工品や地域の認知度などの付加価値が向上している。

応募団体からのアピール・メッセージ

農家レストランと農家民宿が連携し、インバウンドを含めた観光客の誘客拡大により地域住民との交流を進め、渕名集落やにし阿波の関係人口の拡大を図る。

美馬市穴吹町口山渕名385　Tel：0883-56-0550

8 徳島県美馬市（みま）

農村文化体験　伝統の継承　雇用

山人の里運営委員会（やまんとのさと　うんえいいいんかい）

～里山暮らし体験であなたも「山人（やまんと）」になろう！～

子ども会のピザ体験。地元食材もたっぷり。

首都圏大学生による農業体験。そば蒔き作業

経　緯

○地域コミュニティーの核であった「重清北小学校」が廃校になり、地域が寂れていく懸念から利活用を検討し、「地域住民アンケート」で要望の多かった「宿泊施設」に転換した。
○にぎわいの灯をともし続けるための運営組織「山人の里運営委員会」が結成された。

取組内容

○標高の高い立地、体育館等を活かし、学生の合宿・研修の受入。コロナ禍で県外に行けないスポーツ少年団の利用が増。
○地域森林資源を活用した「置時計」等の作成、地元の畑で収穫体験した野菜等を活用したピザづくり体験等を実施。
○里山保全、峠道の整備。

活動の効果

○コロナ禍で県外移動自粛もあり、マイクロツーリズム的な需要が高まりつつある。
○地域森林資源を活用したものづくり等の体験メニューを充実することにより、地域住民の林業に対する「やる気」を引き出すことに繋がっている。
○施設利用者が多数訪れることにより、地域住民の連携、里山暮らしの維持意欲が高まっている。

応募団体からのアピール・メッセージ

豊かな自然と、山間部で暮らすのに必要な様々な技術を有する「山人（やまんと）」の暮らしは、大変贅沢かつ豊かです。宿泊施設「山人の里」で、豊かな暮らしを多くのみなさんと共有できればと思います。

美馬市美馬町字狙ケ内26番地3　Tel：0883-63-3260

9 徳島県美馬市（みま）

地産地消 | 耕作放棄地対策 | 教育機関との連携

中国四国農政局 ディスカバー農山漁村の宝 選定地区

吉田（よしだ）　ますみ

～手のひらの茶葉を豊かな農文化と伝統に～

二と八代表　吉田ますみ

地元の穴吹高校生との茶染め体験

経　緯

○渕名地区のある穴吹町にUターンをしてカフェを開業。そこから茶畑保全活動等を行うグループ「二と八」が生まれた。
○「世界農業遺産認定地域・美馬市穴吹町渕名地区で育まれた自然からの贈り物を子供たちの心に繋げたい」という想いで、2018年から活動開始。

取組内容

○耕作放棄地となっている茶畑再生と、集落のブランディングプロジェクトに取り組む。
○未来の子供たちへ世界農業遺産に選ばれた農耕システムの継承と新しい農文化を生み出すふるさと協働事業に取り組む。
○地元高校生や外国人ボランティアなどにも活動に参加してもらい、緑茶に関わる人々を増やし、活動を通して感じたものを発信している。

活動の効果

○地元高校生とのフィールドワークは、年間6回延べ100名以上の参加となっている。
○地元高校との連携ふるさと協働事業で、廃棄茶葉を使ったお茶染の商品を開発するなど新たなお茶の可能性を引き出した。
○「渕名茶」の製品化に取り組み、ティーパックなど4商品の販売を開始した。

応募者からのアピール・メッセージ

活動を通して渕名という地域、世界農業遺産の地域を広く認知してもらいたいと考えている。渕名集落に来てもらい、地域のブランド化を行い地域との結び付けをこれからも行っていきたい。また、飲むだけでない緑茶の可能性をもっと広めていきたい。

美馬市穴吹町穴吹字藤原11-1　Tel：090-9453-1442

10 徳島県三好市（みよし）

6次産業化　耕作放棄地対策　学生・若者の活躍

奨励賞

有限会社WORLD COLLECTION Natan葡萄酒醸造所（ゆうげんがいしゃ わーるどこれくしょん なたん ぶどうしゅじょうぞうしょ）

～新文化を創る！ワインで地域に循環を～

全くのゼロから。県内初の試み！

徳島県産葡萄によるオリジナルワイン

経　緯

○移住し、自らの目標であったワイン用葡萄栽培を開始。
○遊休農地の開墾から始めたが、後継者不足により農地の衰退を知ることに。
○徳島県の多様な気候をもたらす地で、日本の農業が衰退の一途を辿っていることに危機感を持った。

取組内容

○2018年、初めての自社徳島県産ワイン用葡萄によるワインの販売に成功。また、葡萄名産地の阿波市と共同し、放棄葡萄園を再生し阿波市産葡萄のワインを生産開始。
○地元高校と共同し、苺ワインの開発・商品化。地元中学生の農業体験研修を受入。
○年々農地を拡大。遊休農地の開墾も継続。
○葡萄の生産からワイン醸造まで全行程を徳島県内で行うため、三好市に醸造所運営開始。

活動の効果

○地元高校と共同したワイン開発等、中学生の農作業体験研修を受け入れることで、農業生産品にとどまらない農業の可能性を考える機会が提供できている。
○地域ボランティアが地元の遊休地を開墾しワイン用葡萄栽培を始めるなど、農業・地域の活性化に繋がっている。
○葡萄の生産からワイン醸造までの全行程を徳島県内で行い、ブランド化が図られる。

応募団体からのアピール・メッセージ

ワイン造りの新しい文化を生み出すことにより、地域農業に選択肢を増やし、ワインという農業だけに留まらない6次産業化を示すことで、農業の可能性を体現します。

三好市池田町マチ2185-4　Tel:0883-87-8688